

備前市事務事業評価表

事務事業名	地域農政推進対策事業		コード	04-01-01-11
			担当課・係	農林水産課管理係
			担当者	下山 晃
			電話	0869-64-1831
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目(施策)	農業		

事業について		
目的 (何のために)	地域における農業の振興と地域の活性化を推進する	
対象 (誰・何を対象に)	農業者、農用地を利用する市民	
内容	農業振興地域整備計画の変更、営農対策・担い手対策事業等への補助	

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	回数など (単位)
	回数など (単位)	回数など (単位)	
農業振興地域整備促進協議会	1回	2回	
農業振興対策事業	1回	1回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	389	間接補助金等		直接事業費	301	間接補助金等		
	人件費	6,382	委託費負担		人件費	4,259	委託費負担		
	合計	6,771	市債	一般財源等	6,771	合計	4,560	市債	一般財源等

必要人員	0.81人	0.56人	
結果指標名	農業振興地域整備促進協議会	農業振興地域整備促進協議会	
結果指標量	1	2	
単位	回	回	
対前年比		200.00%	0.00%
活動にかかるコスト	4,351,902円	2,964,000円	
単位当たりコスト	4,351,902円	1,482,000円	
結果指標名	農業振興対策事業	農業振興対策事業	
結果指標量	1	1	
単位	団体	回	
対前年比		100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	641,722円	1,596,000円	
単位当たりコスト	641,722円	1,596,000円	

事業の成果		
どのような成果を得ようとしているか	農用地利用計画について、地域の実態に即した計画的内容を検討し、適正な農用地の確保を図る。	
成果指標名	農業振興地域整備計画の変更申請に対して作業を進めるため、成果指標を定められない	式又は説明
	17年度	18年度
成果指標量		
対前年比	-	
到達目標値		到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 農業委員会等に関する法律	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	制度の適正な運営に努める
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	作業分担を図るべきである
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	目的達成度
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> C
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	市民参画度	毎年2回協議会を開催できるよう調整中

平成19年度状況		説明 整備計画書の統一の準備
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 2回	結果指標量 1回

総合評価	市民からの要望による整備計画の軽微変更が主のため、それなりの成果は出ているが、合併後の統一した整備計画がなく国から指摘を受けている。平成20年度に整備予定。	評価区分<A~E> C
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	有効性	3つある農業振興地域整備計画書の統一	平成20年度	土地利用基本計画書により実施